

産学イノベーション支援センター NEWS

CONTENTS

- <トピックス> オープンラボ
- <トピックス> イブニングサロン
- その他の催し
- 公募情報

Vol.12 No.2 Feb. 2020

● 連絡先 ● 宇都宮大学 産学イノベーション支援センター

〒321-8585 栃木県宇都宮市陽東7丁目1番2号 TEL:028-689-6316 FAX:028-689-6320
E-mail sangaku@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp URL http://www.sangaku.utsunomiya-u.ac.jp

産学イノベーション支援センターの活動

宇都宮大学 産学イノベーション支援センターでは、産学官金・地域の連携推進をはかることを目標に様々な活動を行っています。令和元年度は産学交流振興会会員の皆さま方との交流の一環として、本学研究施設・研究室の公開（オープンラボ）を実施しました。大学と地域の皆さま方との新たな繋がりを創り出したいと考えていますので、よろしくお願い致します。



オープンラボ開会の挨拶
【横田センター長】

● <トピックス> オープンラボ ●

【第1回オープンラボ】

産学イノベーション支援センター 先端計測分析部門

第1回は宇都宮大学の陽東キャンパスにある産学イノベーション支援センターの先端計測部門で、2019年11月8日（金）に実施し、5社から12名の方が参加されました。

先端計測部門が保有する機器、受託研究サービスについて、部門長の松本准教授からお話しをして頂きました。本センターの特徴は、分析手法の選択や分析試料調製についても、専門のスタッフからサポートを受けられるとの説明がありました。

更に測定室を回り、実際に機器を見て頂く見学会を実施しました。また意見交換会での質疑応答など双方向で情報交換も行いました。



松本部門長の説明



見学会での機器の説明



意見交換会

【第2回オープンラボ】

バイオサイエンス教育研究センター

第2回は宇都宮大学の峰キャンパスにあるゲノミクス研究棟で、2019年12月5日（木）に開催し、5社から6名の方が参加されました。

バイオサイエンス教育研究センター長の山根教授から、センターの活動について、お話しをして頂きました。また当日参加頂いた各担当の先生方からも、個別の研究活動について分かり易く説明して頂きました。

その後、実際に実験室や機器等も見て頂く見学会を行いました。バイオ研究施設ならではの動植物の飼育栽培施設をはじめ、細胞培養室、顕微鏡室、小型魚類の飼育室、更に保有する機器の説明等もして頂きました。

更に意見交換会では、参加者からの質問にお答えすると共に、共同研究の取組み等も紹介して頂きました。



山根センター長の説明



見学会での機器の説明



意見交換会

【第3回オープンラボ】

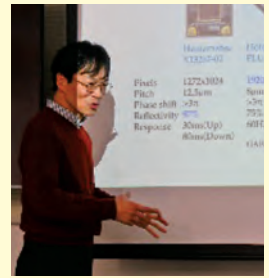
オプティクス教育研究センター

第3回は陽東キャンパスのオプティクス教育センターで、2020年1月15日（水）に行いました。4社から4人の方に参加して頂きました。

副センター長の早崎教授から、「空間光制御技術を用いた超高速・超精密レーザー加工装置」のお話しをして頂きました。説明途中にも参加者からの様々な質問に答えて頂きました。

更に実験室を回り、実際に機器を見て頂く見学会を実施しました。見学会では長谷川助教から説明を頂きました。内閣府のSIP（戦略的イノベーション創造プログラム）で導入された装置が入っているクリーンルームの中まで見せて頂き、併せて加工デモンストレーションも行って頂きました。

意見交換会では、予定の時間を超えて活発な質疑応答が行われました。



早崎副センター長の説明



長谷川助教の説明（見学会）



クリーンルームでの説明

今年度は、以上3回のオープンラボを企画、実施致しました。宇都宮大学の研究を知って頂き、企業の皆さまとの連携を深めて行きたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。

● <トピックス> イブニングサロン ●

今年度の新しい企画の一つとして、企業にとって非常に大切な知財について知って頂く機会を設けることにしました。第1回は以下の要領で開催致します。大学からの技術プレゼンテーションも併せて行いますので、ぜひご参加下さい。

● 第1回のご案内（2020年2月19日（水）16:00～17:30）

第1回は陽東キャンパスのオプティクス教育研究センターで開催致します。

発明推進協会 産学連携知的財産アドバイザーの原先生から、知財について分かり易く説明して頂きます。また大学からの技術プレゼンテーションとして、産学連携・イノベーション・知財部門長の高山教授から機械系学科の研究紹介をして頂きます。
(藤井サイエンスディレクター)

● その他の催しの紹介 ●

【大学コンソーシアムとちぎ第16回学生&企業研究発表会】

第16回学生&企業発表会が、2019年11月30日、作新学院大学で開催され、参加者は約580名でした。この発表会は産学交流振興会も支援しています。

口頭発表70件、ポスター発表19件の合計89件の発表があり、また企業発表も2件行われました。最優秀賞（知事賞）を受賞した荒井裕貴さん（発表題目「屋外環境における自律移動ロボットのゴミ認識技術の開発」）をはじめ、本学の多数の学生さんが受賞しました。

<http://www.tochigi-satellite.jp/workshop/333>



最優秀賞 荒井さん

- ・最優秀賞（知事賞） 宇都宮大学大学院地域創生科学研究科計測・ロボット工学研究室 荒井裕貴, 小川優輝, 柿木泰成, 岡村涼平, 福嶋章哲, 小坏慎吾, 野澤良介, 竹林拓海
- ・栃木県経済同友会賞 宇都宮大学工学部応用化学科 佐々木慈生
- ・栃木県産業振興センター理事賞 宇都宮大学大学院地域創生科学研究科工農総合科学専攻 加藤瑞樹
- ・カゴメ賞 宇都宮大学大学院地域創生科学研究科工農総合科学専攻 島本裕基, 正木駿也
- ・フェドラ賞 宇都宮大学大学院地域創生科学研究科工農総合科学専攻 氏家拓海

● 公募情報 ● 宇都宮大学と共に公的資金の獲得を目指しませんか？

- 経産省 戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン）（1月下旬～4月下旬）
 - ・特定ものづくり基盤技術（12分野）の高度化につながる取組を支援。 <http://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/sapoin/index.html>
- AMED 医療分野研究成果展開事業（2/3～3/17）
 - ・中小企業等の新規参入や、医療機関との連携・共同事業を促進。 https://www.amed.go.jp/koubo/02/01/0201A_00077.html
- JST 研究成果最適展開支援プログラム（A-step トライアウト／育成型）（目安：3月～5月）
 - ・企業の技術課題を、大学のもつコア技術で解決する活動を支援。 <https://www.jst.go.jp/a-step/>
- とちぎ未来チャレンジファンド活用助成事業（目安4月～5月）
 - ・県内中小企業者等の様々なチャレンジの経費を一部助成。 <http://www.tochigi-iin.or.jp/index/3/2/>